

平成 29 年 3 月 30 日

各 位

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
 代表者 代表取締役社長 伊藤 雅文
 (コード番号 6255)
 問合せ先責任者 専務取締役 廣澤 一夫
 (TEL 03-6240-1206)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 10 月 11 日に公表いたしました第 2 四半期累計期間ならびに通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 8 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正について

連結 (平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,305	△223	△308	△316	△14.35
今回修正予想(B)	2,277	419	356	151	6.88
増減額(B-A)	972	642	664	467	
増減率(%)	74.5	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 8 月期第 2 四半期)	687	△301	△350	△259	△11.78

個別 (平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,291	△228	△313	△316	△14.36
今回修正予想(B)	2,266	424	362	157	7.16
増減額(B-A)	975	652	675	473	
増減率(%)	75.5	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 8 月期第 2 四半期)	659	△301	△356	△262	△11.89

修正の理由

装置関連事業におきまして、下期に予定していた大型案件の売上計上時期が一部前倒しされ、当第 2 四半期に計上されたことから、売上高は期初予想より 972 百万円増加し、2,277 百万円となる見込みです。利益面では売上高増加に伴う増益のほか、利益率の高い改造案件が上期に集中したことや、原価低減努力および営業努力により、営業利益は 419 百万円、経常利益は 356 百万円となり、前回の予想値を上回る見込みです。一方、本日開示いたしました、固定資産譲渡に伴う特別損失の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益につき

ましては 151 百万円となる見込みです。

なお、個別業績予想の修正理由も同様です。

2. 平成 29 年 8 月期通期業績予想の修正について

連結（平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,608	524	358	340	15.45
今回修正予想(B)	5,261	477	343	128	5.85
増減額(B-A)	△1,347	△47	△15	△212	
増減率(%)	△20.4	△9.0	△4.2	△62.4	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 8 月期)	3,996	116	81	△122	△5.57

個別（平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,572	499	333	327	14.86
今回修正予想(B)	5,236	472	341	131	5.96
増減額(B-A)	△1,336	△27	8	△196	
増減率(%)	△20.3	△5.4	2.4	△59.9	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 8 月期)	3,979	146	79	△131	△5.97

修正の理由：

装置関連事業におきましては、当社顧客の間で設備投資計画に対する見直し等が発生した結果、通期売上高は期初予想より 1,265 百万円減少して 5,003 百万円となる見込みです。環境関連事業におきましては、検査サービスで順調に売上を計上する一方、検査機器の販売が弱めに推移しており、期初予想より 81 百万円減少し、257 百万円となる見込みです。以上の結果、通期連結売上高は期初予想より 1,347 百万円減少して 5,261 百万円となる見込みです。

利益面では、装置関連事業、環境関連事業ともに原価低減努力や営業努力により、高い利益率を確保する見込みです。環境関連事業における、検査効率を高めた検査サービスの販売も利益を後押しすると見られるため、営業利益はほぼ期初予想どおりの 477 百万円となり、経常利益は 343 百万円となる見込みです。親会社に帰属する当期純利益は、本日別途開示いたしました特別損失の計上により、128 百万円となる見込みです。

なお、個別業績予想の修正理由も同様です。

(注) 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上